

公表

放課後等デイサービス評価表

事業所名 就業支援専門 ていーせる

公表日 2026年3月30日

利用児童数 45名 回収数 19名

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	1	学習には十分と思いますが、夏休みの長時間のときなどを動かせる場所があるとよりよいのかもしれないです。 ストレッチや室内運動してる時は手狭な印象を受けますが、主軸は座学なので良いのかな？	少しでも広く使えるように、室内の片付けを工夫していきます。 運動の時間には、近くの公園に出かけてのびのび体を動かすようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	3	0	2		今後も業務状況や子どもたちの状況を踏まえながら、必要に応じて配置の見直しを行っていききたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	4	0	3	ほとんど事業所にお伺いしてないため、デスク周りの様子が記憶にないです。 私としては机の配置と机の衛立も学び中心が提供であるイメージを持ちます。しかしながら発達障害の子たちにとって明確さがあるかは分かりません。	ぜひ気軽に事業所に見学いらして、実際の様子をご覧いただければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	4	0	1		子どもたちの活動に合わせた配置や工夫も行って、学習や遊びの場として使いやすい空間となるよう努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	1		お子様一人一人の特性に応じた支援を考え、実行していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	0	0		ホームページにて公開しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0	保護者からの意見は反映されているように思いますが、子どもからのフィードバックはないように感じます。	子どもたち自身の声についても、今後さらに意識して取り入れていけるようにしていきたいと思えます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	1		適切な設定および具体的な支援内容の設定を行います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		放課後等デイサービス計画に沿った支援を行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	0	2	学習のサポートを期待しているので固定化されないことへの希望はないです。	引き続き、学習に集中できる環境づくりを意識して進めていきたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	6	7	別に必要ないと思います。 ないですよね？	公園での運動時や送迎時に交流の場面があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	0		分かりやすい説明を心がけてはありますが、もしご不明点等ございましたらいつでもご連絡ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	1	0		保護者と職員間で支援内容の齟齬が出ないようすり合わせを行っていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	2	8		面談や長期休暇に授業参観を行っています。 お気軽にお問い合わせください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	3	0	0		帰りの送迎時やLINE、お電話等で共通理解を深めていると認識しております。今後も引き続きこのような形で取り組みます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	0	3	まだ利用はじめて日数がたっていないためわかりません。	事業所では、毎月面談の案内を行っており、送迎時にも子育てに関する助言を行っています。 今後も、必要に応じてこうした支援を継続していきたいと考えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1	0	1		お子様や保護者の気持ちを汲んだ支援を心がけています。さらにこうしてほしいといったご要望等ありましたらいつでもご相談ください。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	5	6	8	特に希望しません。 まだ利用はじめて日数がたっていないためわかりません。	保護者同士の交流を促進するようなイベントは行っておりませんがご要望に応じて検討します。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	1		お子様や保護者からのご相談に対し迅速に対応するよう心がけてます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1		連絡帳や帰りの送迎時にお伝えします。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	3		毎月「ていーせる通信」を発行し情報の発信を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	1	3		個人情報の取り扱いには今後とも注意します。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	3		マニュアルを、施設内に掲示しています。 また、会議にて訓練や研修を実施しています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	2	5	まだ利用はじめて日数がたっていないためわかりません。	長期休暇時に避難訓練を行っています。 皆様にも周知されるよう努めます。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	1	2		安全に関して研修を行うことで確認を行っています。
満 足 度	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	6	事故がないためわかりません。 まだ利用はじめて日数がたっていないためわかりません。	事故や怪我が発生した場合はお電話やLINE等で速やかにご報告させていただきます。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17	2	0	0		お子様に安心感を持っていただけるような場づくりを心がけています。
28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	4	0	3	家でゲームがしたいために行きたがらない時があります	可能な限り楽しく、学習の必要性をお子様ご本人が感じてもらえるような支援を目指しております。	

29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		普段の支援以外もに面談や授業参観などの取り組みを行っています。お気軽にお問い合わせください。
----	------------------	----	---	---	---	--	--

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		就業支援専門ていーせる つつみ		公表日 2026年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	机の配置を調整し、お子様の様子が見やすくなっています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	施設内にお子様が一きりにならないよう、送迎を調整しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	二ーズに応じて設備を設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	18時40分から10分間掃除の時間を設けております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	体調不調や受験生など、必要に応じ個室の使用を促しております。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	会議や朝礼、終礼などで業務改善について話し合っています。
適切な支援の提供	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの要望に応じ業務改善を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	会議や朝礼、終礼などで業務改善について話し合っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	他職種の方や社長による評価をいただき、業務改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	毎月の社内研修実施と定期的な社外研修への参加を行っています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	HPや個別支援計画書、連絡帳などにて支援プログラムを公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の二ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	お子様や保護者からの意見を取り入れつつ放課後等デイサービス計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	放課後等デイサービスを作成する際にはお子様に関わる全職員で内容の確認を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	施設内の全職員が計画を常に確認できるよう共有し、支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	連絡帳にて職員、保護者共に確認できるようにしております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	職員間で共有し、一人一人に合わせた支援を行うことができます。

関係機関 や保護者との 連携	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	一人一人の支援内容をチーム全体で考えることができます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	プログラム内容は職員が交代で考えるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子様や保護者の要望に合わせて支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援内容や役割分担の話し合いは必ず行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後には終礼を行い、一日の振り返りをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	朝礼、終礼での記録を取っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	3ヶ月に一度、モニタリングを行い個別支援計画書の更新を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	ガイドラインを職員が把握し、意識しながら支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	学習内容や休憩時間を自分で決めてもらう等、自己決定を促す場面を作っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	職員の中で特にそのお子様に詳しい者が参加しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	生徒情報を確認し、支援体制を整えています。また、医療機関などの検査結果も確認することで、支援に活かすことができます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	年度初めのご挨拶時に調整を行っております。
	関係機関 や保護者との 連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	必要に応じ支援内容で行ったことを共有しています。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	児童発達支援センターなどから助言や研修を受けています。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	外での運動時や放課後児童クラブへのお迎えの際に交流があります。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	開催時に積極的に参加をしています。

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時やLine、電話などで共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	授業参観を行っております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	必要に応じて、運営規定、支援プログラム、利用者負担額を説明しています。不明な点がございましたらいつでもお問い合わせください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	契約時や送迎時、面談時などにお子様や保護者の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	放課後等デイサービス計画に同意をいただく場合は合わせて支援内容の説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	送迎時やLine、電話などで共有を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	長期休暇時に授業参観を行うことで保護者が関われるような機会を提供しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	可能な限り迅速に対応できるよう窓口を整備しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	月に一回でいーせる通信を発行しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の記載された書類は鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	伝わりやすい声掛けや場合によっては紙媒体を用いるなどの取り組みを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	避難訓練の案内を掲示しています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルは施設内に掲示しております。また、毎月社内研修として訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年に2回の避難訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時に保護者に確認を取っております。	
	非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者から提供された指示書に基づき対応しています。
		50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全管理マニュアルに基づき支援を行っています。
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約の際に安全に関する取り組みについて説明させていただいています。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット報告書を作成、共有することで再発防止に取り組んでいます。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	研修にて適切な対応を学び実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約の際、身体拘束について説明させていただいております。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就業支援専門ていーせる つつみ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者やお子様に対して共感的な姿勢で支援を行っていること。	共感的な姿勢を持ちながら支援をするという点は特に意識しながら行いました。	これからも共感的な姿勢を崩さず支援に当たらせていただきたいと思います。
2	放課後等デイサービス計画に沿った形で支援が行われていること。	保護者とお子様のニーズに沿った形で支援を行うよう心がけております。今後も何かご要望等ございましたらお声がけください。	放課後等デイサービスの内容の更新に関しまして内容の変更等のご相談はいつでも受け付けております。送迎時やLINE、お電話等でご連絡ください。
3	日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、健康や発達の状況について共通理解ができていること。	保護者の方とのやり取りを重要視しています。 施設内で何か気になることがあった場合はすぐに報告させていただいております。また、ご家庭内で何か気になることがあった場合も共有していただけますと幸いです。	面談や授業参観など共通理解を深めるための様々な取り組みを実施しております。お気軽にご活用ください。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	施設では、保護者交流を促す行事が授業参観など限られたものになっています。	実施のご要望があれば開催を検討します。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	送迎の時や外での運動時に交流はあるが毎回ではありません。	ご要望の声があればどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	災害発生時の訓練は実施しているものの周知が足りません。	災害発生時の訓練を行う際は複数回の実施予告を行います。

公表

放課後等デイサービス評価表

事業所名 就業支援専門ていーせる つつみ

公表日 2026年3月30日

利用児童数 51名 回収数 37名

Table with 7 columns: チェック項目, はい, どちらともいえない, いいえ, わからない, ご意見, ご意見を踏まえた対応. Rows are categorized into 環境・体制整備, 適切な支援の提供, 保護者への説明等, 非常時等の対応, 満足度.

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	就業支援専門 ていーせる	公表日 2026年3月30日
------	--------------	----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	職員全員がお子様が目が届く広さになっており、お子様の様子を確認しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	お子様一人一人の目標を考えて適切な配置数を工夫しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	お子様ごとのニーズに応じて設備を設置しています。	必要であれば設備等の改善を検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	職員やお子様清掃時間を設けることでスペースの確保ができるようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	状況に応じて個室の使用が認められています。また、悩み相談を行う際も使用しています。	
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	支援開始前、支援終了後にミーティングを行うことで全職員が業務改善を意識しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表を活用し、保護者からの要望に応じて業務改善に努めています。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	支援開始前、支援終了後に職員ミーティングを行い活発に意見交換を行うことで業務改善に繋がっています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	他職種の方や社長による評価をいただき、業務改善に努めています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	支援の質向上のため毎月社内研修を実施し、都度社外研修に参加しています。	
適切 な支 援の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	施設で支援プログラムを作成し、Web上に公表をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者やお子様と話し合いを行い、計画を作成しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	ミーティングで課題を話し合うことでお子様について共通理解をしながら最善の利益を考慮し作成をしています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	お子様の個人用ファイルを作成することで計画や保護者の方からの要望のあった支援を行うことができるようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	適応行動の状況を様々なアセスメントツールを用いて常に確認をしています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	お子様本人の最善の利益を考え項目別の設定に努めております。家族や関係者、関係機関の意向も出来る限り汲み取ることができるよう努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全職員で支援内容や方向性についてチームで立案を行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	全職員でお子様の課題を話し合うことで共通理解をしながら最善の利益を考慮し作成をしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	お子様の状況によって、個別活動、集団活動を組み合わせ計画を作成しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援前に職員でミーティングを行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終業時間の関係で翌日に行うことがあります。翌日が休みの職員がいる場合は支援について引継ぎや連絡ツールで記録を残します。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	連絡帳等を活用し、支援の振り返りを行っています。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	3か月に1回の支援計画の更新時にモニタリングを行い、状況の確認を行った上で支援計画の更新をしています。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	ガイドラインの総則を職員が把握し、意識して支援を行っています。		

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	4	0	年齢の低いお子様には、選択肢を選ぶ方法で自己決定をできるようにしています。 年齢の高いお子様には、自身で学習計画・将来の目標を立てることで自己決定の練習をしています。 SSTで話し合う時間の中で、自分の意見を発信する機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	全職員が参加できるようにお子様についての情報共有を行っており、参加後は共有をすることで全職員が把握できるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	生徒情報を確認し、支援体制を整えています。また、医療機関などの検査結果も確認することで、支援に活かすことができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	要望がある学校に利用日の共有をしています。学校の先生が施設へお子様の様子を見に来てもらったり、面談をすることで情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	保護者からの共有で情報をいただいています。	必要に応じて就業前の各機関との連絡、情報共有をしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	他事業所からの要請に応じて情報提供を行っています。	必要に応じて、障害福祉サービス事業所への情報提供をしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	児童発達支援センターから助言や研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	放課後児童クラブへのお迎えの際に交流があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	開催時に積極的に参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	必要に応じて送迎時・Line・電話などで共有を行っています。 共通理解があると感じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	授業参観を行っています。	家族向けの集団での研修の機会は設けていないため、要望があれば検討を行います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	見学・体験、契約時に丁寧な説明が出来るように努めています。 支援に関する質問なども随時受け付けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	必要に応じて送迎時・Line・電話などで共有を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画の内容が保護者の要望・お子様の目標に合うものになるように作成を行うようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	定期的な対面での面談や電話で詳細を確認することで助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	長期休暇時に授業参観を行うことで保護者が関われるような機会を提供しています。	保護者からの要望があれば、他にも行事を開催し保護者同士の連携をさらに支援していくことを検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった際は迅速に状況の確認を行い、お子様や保護者への対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	連絡ツールを活用し、「ていーせる通信」を毎月配信することで情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	利用者に関連する情報や会社の個人情報を鍵付きの棚に保管を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	声かけ方法や環境を適宜調整して配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	避難訓練の案内を掲示しています。	ご要望があれば実施を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	毎月社内研修を実施することで訓練を行っております。 マニュアルなどについては施設内で掲示を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	社内研修を通じて定期的に必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	フェイスシート等で確認を行い、詳細については見学・体験、契約時に保護者に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	現在保護者から指示書をいただける場合は、指示書に基づいた対応をしています。	引き続き保護者から提供された指示書に基づき対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全管理マニュアルを作成し、訓練を行っています。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	緊急時の安全確保について保護者と連絡をとることができるようにしています。		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットをその都度、職員間で共有を行い毎月全職員と他事業所に報告を上げることで再発防止に取り組んでいます。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止研修を実施することで様々なお子様に対しての支援を検討しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束を行う状況について、説明と了解を得て記載しています。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就業支援専門 ていーせる		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日	2026.01.01～01.31	2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2025年12月10日	2026.01.01～01.31	2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習を中心とした支援で、小学生から高校生まで幅広く偏りのない子どもに対応できていること。	学習習慣をつけることで集中力、忍耐力が増えています。また学習による報告・連絡・相談により社会性を身に付けていきます。きめ細やかな個別指導をしています。	保護者から学習についての要望があれば、計画書を基本にししながら内容を柔軟に見直しながら支援していきます。子どもの状態を見て、適切な目標を提案していきます。
2	中心としている学習支援は勿論、他にも充実した支援を提供できていること。	勉強だけでなく、作業や運動等で受験校の詳細を網羅した上で、幅広い受験対策ができるよう工夫しています。難関特別支援学校での学習以外の受験対策にも取り組んでいます。	保護者を含むお子様からのフィードバックを重視して、個別支援計画や普段の学習にもその都度取り入れていきます。学習以外の支援も必要に応じて優先順位を変更していきます。
3	一日の学習時間を長めにとっており、職員で共有した個別計画書にそった支援を意識的に行っていること。	計画書を軸に職員全員が共通した意識のもと、支援しています。職員によって支援に差が出ないようにお子様の状況を積極的に情報共有しています。専門職員によるソーシャルスキルトレーニングを行なっています。	個別支援計画書の方針について保護者に詳しく説明していきます。個別支援計画書作成に基づいた面談の機会を積極的に設けてきめ細やかな対応をしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎で直接会う機会が少ない保護者に対して、施設の設備や状況を正確に伝えきれていないこと。	直接会う機会が少ない保護者に対して、面談などの提案で施設の状態を把握する機会を設けることが少なかったことです。	特に直接会う機会が少ない保護者に対して、面談などを活用して施設の設備や状況を知ってもらえるよう工夫していきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ないこと。	施設で他児交流の機会が送迎時など限られた機会になっていることです。	お子様や保護者からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等の機会が少ないこと。	施設では、保護者交流を促す行事が授業参観など限られたものになっていることです。	お子様や保護者の方からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。授業参観を何度も開催することで保護者の方にも周知をし、参加を促していきます。